

# 第82期 中間株主通信

2025年4月1日 ▶▶▶ 2025年9月30日



能美防災株式会社

## 株主の皆様へ



能美防災株式会社

代表取締役社長 **長谷川 雅弘**

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境などが改善する中、緩やかな回復基調で推移いたしました。その一方で、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには依然として留意が必要であるとともに、物価上昇の継続、金融資本市場の変動の影響などにより、先行きの不透明な状況が続きました。

当防災業界におきましても、設備投資は緩やかな増加傾向にあることから市場環境は引き続き堅調に推移いたしました。が、原材料価格・労務費などのコスト上昇や時間外労働の上限規制の影響などが懸念される状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは2028年度のありたい姿と、その実現に向けた施策を「中長期ビジョン2028 ～期待の先をカタチに～」として策定しており、2026年3月期から2029年3月期までの4年間で「ステージⅢ」として、ありたい姿の実現に向けた総仕上げに取り組み、より高い付加価値を創造できる企業への変革に挑戦してまいります。

「ステージⅢ」の1年目として積極的な営業活動に努めた結果、当中間連結会計期間における受注高は86,064百万円（前年同期比7.2%増）、売上高は57,020百万円（前年同期比4.5%増）となりました。

利益につきましては、全体的な市場環境は堅調に推移しているものの、採算性の低い大型物件があった影響などにより売上原価率が期初の想定どおりには改善せず、「ステージⅢ」での重点施策などを推進するための費用を中心に販売費及び一般管理費が増加したこともあり、営業利益は2,877百万円（前年同期比20.1%減）、経常利益は3,265百万円（前年同期比13.9%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は2,102百万円（前年同期比17.2%減）となりました。

業績の内訳をセグメント別にみますと、火災報知設備につきましては、売上高は21,081百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益は2,450百万円（前年同期比15.8%減）、消火設備につきましては、売上高は18,869百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益は2,991百万円（前年同期比20.4%増）、保守点検等につきましては、売上高は14,789百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益は2,249百万円（前年同期比2.7%減）、その他につきましては、売上高は2,279百万円（前年同期比8.1%減）、営業利益は133百万円（前年同期比8.8%増）となりました。

当中間連結会計期間末における総資産につきましては、現金及び預金2,594百万円の増加、投資有価証券1,581百万円の増加、無形固定資産1,003百万円の増加等があったものの、受取手形、売掛金及び契約資産16,679百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ10,970百万円減少し、155,906百万円となりました。

負債につきましては、未払法人税等2,645百万円の減少、支払手形及び買掛金1,960百万円の減少、賞与引当金1,473百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ10,259百万円減少し、26,587百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末に比べ711百万円減少し、129,319百万円となりました。

以上のような状況ではありますが、当中間配当金といたしましては1株につき50円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも何とぞ格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

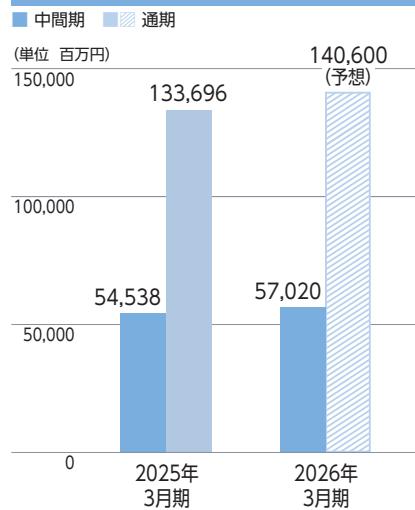
2025年12月

## 目次

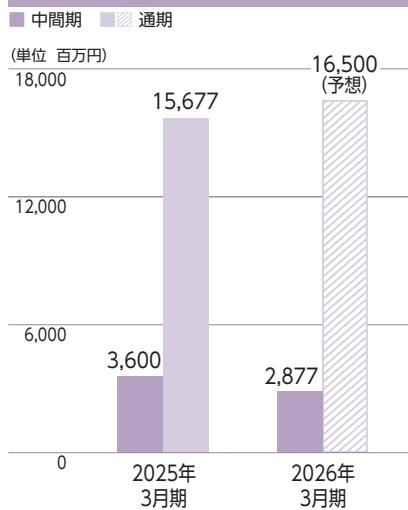
株主の皆様へ	P1
連結財務ハイライト	P3
連結財務諸表	P4
セグメント別の概況	P5
TOPICS	P7
会社の概況	P9
株式の状況	P10
株主メモ	裏表紙

# 連結財務ハイライト

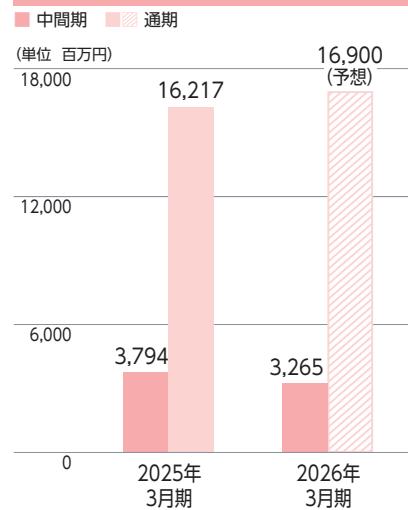
## 売上高



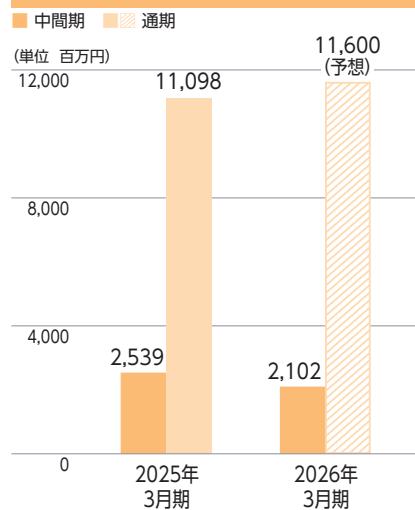
## 営業利益



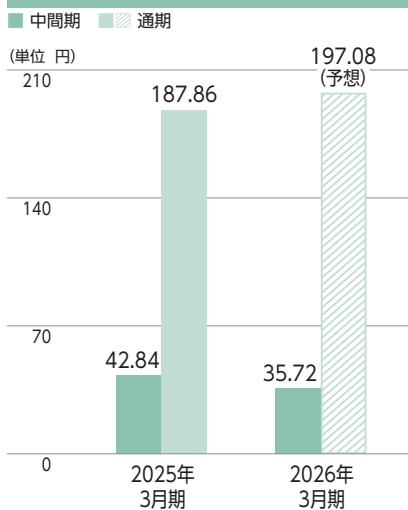
## 経常利益



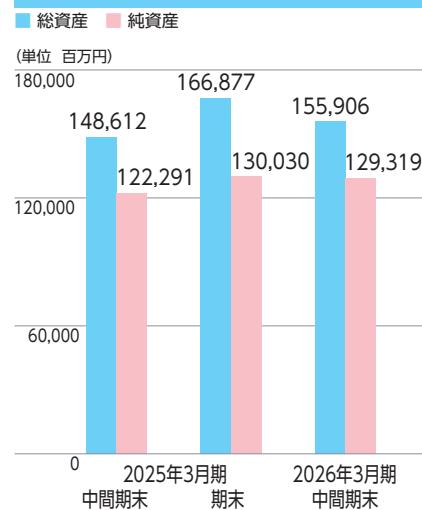
## 親会社株主に帰属する中間(当期)純利益



## 1株当たり中間(当期)純利益



## 総資産・純資産



# 連結財務諸表

## 中間連結貸借対照表 (要旨)

科 目	(単位 百万円)	
	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)	前連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産	102,732	117,150
固定資産	53,174	49,726
(有形固定資産)	24,180	23,378
(無形固定資産)	5,915	4,912
(投資その他の資産)	23,078	21,436
資産合計	155,906	166,877
負債の部		
流動負債	19,739	30,032
固定負債	6,848	6,814
負債合計	26,587	36,846
純資産の部		
株主資本	122,955	123,627
資本金	13,302	13,302
資本剰余金	12,864	12,943
利益剰余金	100,703	101,312
自己株式	△ 3,914	△ 3,931
その他の包括利益累計額	5,959	5,208
非支配株主持分	404	1,195
純資産合計	129,319	130,030
負債純資産合計	155,906	166,877

## 中間連結損益計算書 (要旨)

科 目	(単位 百万円)	
	当中間連結会計期間 (自 2025年4月 1日 至 2025年9月30日)	前中間連結会計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年9月30日)
売上高	57,020	54,538
売上原価	38,531	37,102
売上総利益	18,488	17,436
販売費及び一般管理費	15,611	13,836
営業利益	2,877	3,600
営業外収益	428	257
営業外費用	40	63
経常利益	3,265	3,794
特別損失	11	1
税金等調整前中間純利益	3,253	3,792
法人税等	1,177	1,272
中間純利益	2,075	2,520
非支配株主に帰属する中間純損失	△ 26	△ 19
親会社株主に帰属する中間純利益	2,102	2,539

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

科 目	(単位 百万円)	
	当中間連結会計期間 (自 2025年4月 1日 至 2025年9月30日)	前中間連結会計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,431	7,492
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,973	△ 5,145
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,963	△ 5,611
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 42	138
現金及び現金同等物の増減額	2,452	△ 3,125
現金及び現金同等物の期首残高	42,637	45,550
現金及び現金同等物の中間期末残高	45,089	42,424

# セグメント別の概況

## 火災報知設備

売上高構成比

37.0%

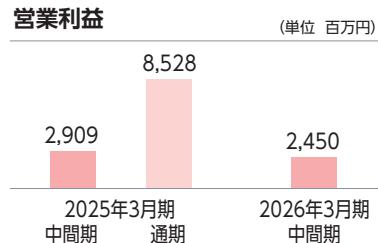
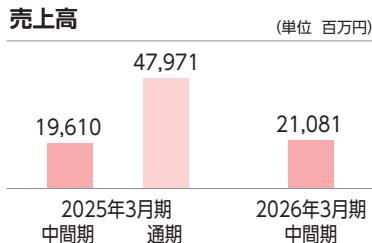


火災報知設備、防火・防排煙設備、ガスもれ警報設備、非常用放送設備、避難誘導設備、住宅防災システム、環境監視システム

売上高 前年同期比  
21,081百万円 7.5%増

営業利益 前年同期比  
2,450百万円 15.8%減

- 市場環境は堅調で、前年に続き、受注高、受注残高、売上高は中間期の過去最高を更新しました。営業利益については、全般的にみれば原価率は改善傾向にあるものの、採算性の低い大型物件があった影響などにより減益となりました。



## 消火設備

売上高構成比

33.1%

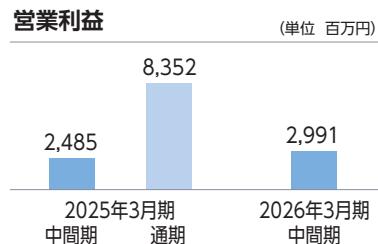
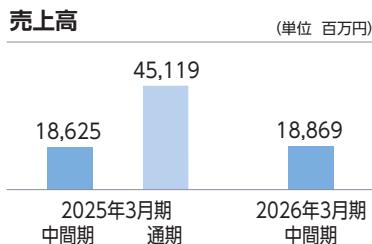


スプリンクラーなど消火設備、文化財防災システム、プラント防災システム、トンネル防災システム

売上高 前年同期比  
18,869百万円 1.3%増

営業利益 前年同期比  
2,991百万円 20.4%増

- プラント等の特殊物件を中心に需要が高い状況が続く中で、受注高、受注残高、売上高は、いずれも2年連続で中間期の過去最高を更新しました。利益率も改善傾向にあり、営業利益は中間期の過去最高に近い水準まで伸長しました。



## 保守点検等

売上高構成比

25.9%

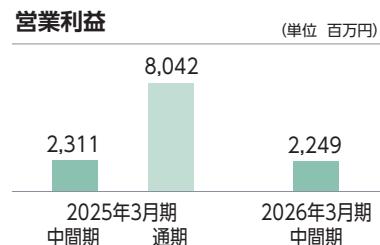
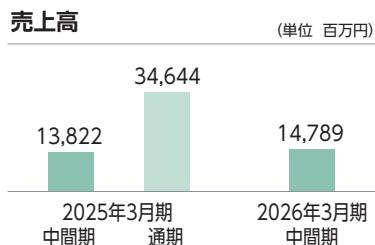


各種防災機器に係る保守点検・補修業務

売上高 前年同期比  
14,789百万円 7.0%増

営業利益 前年同期比  
2,249百万円 2.7%減

- 人員増強を進める中で受注は順調に拡大し、受注高、受注残高、売上高ともに3年連続で中間期の過去最高を更新しました。営業利益については、前年同期と比べると採算性の低い物件がやや多かったことなどから、減益となりました。



## その他

売上高構成比

4.0%

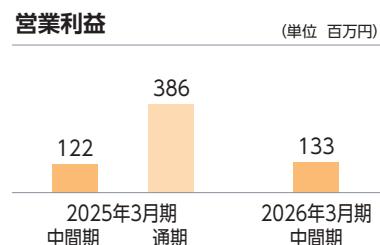
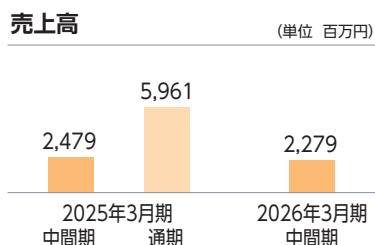


駐車場車路管制システム等

売上高 前年同期比  
2,279百万円 8.1%減

営業利益 前年同期比  
133百万円 8.8%増

- 駐車場関連が減収となり、セグメント全体の売上高は減少しました。その一方で、厳しい環境の中ではあるものの、利益率の改善に取り組んだ結果、営業利益は増益となりました。



### Rapidus社の半導体製造拠点「IIM-1」へ防災システムを納入

世界最先端のロジック半導体の開発、製造を目指すRapidus株式会社(以下、Rapidus社)は、製造拠点となる「IIM-1」を北海道千歳市の工業団地「千歳美々ワールド」に建設しました。

「IIM」は、Innovative Integration for Manufacturingの略語で、イノベーションを起こすものづくりの場所という意味を含め、Rapidus社によって名付けられました。

本施設では、自動運転やAIなど次世代の産業に欠かせない2ナノメートル(ナノは10億分の1)の最先端半導体が製造されます。2023年9月に着工され、2025年には試作ラインが稼働、最先端の国産半導体の量産化に向けて準備が進められています。

当社は、この「IIM-1」に防災システムを納入し、皆様に安全、安心をお届けしています。



## 災害臨場体験VRシリーズの最新作 地震・津波臨場体験VR™ を提供開始

当社は2025年8月より、「地震・津波臨場体験VR～命をつなぐ選択～」の提供を開始しました。2022年4月より専用VRキットのレンタルサービスとして展開してきた「火災臨場体験VR～混乱のオフィス～」の続編となります。

前作に続き今作も、VRコンテンツ制作で著名な株式会社グランゼーラと共同開発し、VRでのリアルな地震や津波の災害体験を実現。地震・津波の発生時に求められる判断や行動の実践可否を確認しながら体験が進み、終了後にはプレイヤーの防災力レベルが判定される機能も搭載しています。

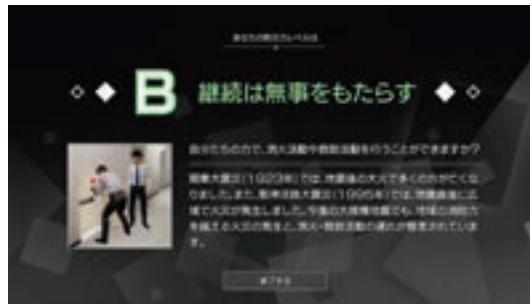
当社では、本コンテンツを東日本大震災による津波被害の伝承や、南海トラフ大地震・津波発生等を想定した防災訓練などに活用いただくことで、防災意識の向上や命を守る行動の定着に寄与してまいります。



大地震発生シーン



大津波襲来シーン



防災力レベル判定

# 会社の概況 (2025年9月30日現在)

## 会社の概況

商号	能美防災株式会社 NOHMI BOSAI LTD.
設立	1944年5月5日
資本金	13,302,282,161円
従業員数	2,875名(連結) (2025年3月31日現在)

## 主要な事業所

本社 東京都千代田区九段南4丁目7番3号

北海道支社(札幌市) 中部支社(名古屋市)

東北支社(仙台市) 北陸支社(金沢市)

新潟支社 関西支社(吹田市)

茨城支社(水戸市) 京都支社

北関東支社(さいたま市) 中国支社(広島市)

西関東支社(八王子市) 岡山支社

丸の内支社(千代田区) 九州支社(福岡市)

千葉支社 三鷹工場

横浜支社 メヌマ工場(熊谷市)

長野支社 研究開発センター(三郷市、熊谷市)

静岡支社

子会社 日信防災株式会社(東京都千代田区)  
能美エンジニアリング株式会社(東京都江東区)  
上海能美消防設備有限公司(中国上海市)

## 役員体制

### 1. 取締役

代表取締役会長 岡村 武士	取締役 藤井 裕之 常勤監査等委員
代表取締役社長 長谷川 雅弘	社外取締役 長濱 晶子 監査等委員
取締役 中村 雅之	社外取締役 福田 真人 監査等委員
取締役 千田 岳彦	社外取締役 安部 道雄 監査等委員
社外取締役 塩谷 慎	
社外取締役 平野 啓子	
社外取締役 鷺見 哲也	

### 2. 執行役員

常務執行役員 原 祐二	執行役員 小野 泰弘
常務執行役員 加藤 良一	執行役員 内匠 一樹
執行役員 中村 雅之	執行役員 嶋宮 浩栄
執行役員 池田 信也	執行役員 山岸 貴俊
執行役員 山本 一人	執行役員 伊藤 尚
執行役員 上吹越 慎	執行役員 高沢 豊秀
執行役員 踊 恵支	執行役員 原口 信一

## 主要な事業内容

- 防災に関する受託実験・企画・提案
- 各種防災設備、システムの企画、開発、設計、施工、保守
- 上記機器の設計、製造、販売
- 駐車場車路管制システムの設計、製造、施工、販売、保守

# 株式の状況 (2025年9月30日現在)

## 株式の状況

株式数 発行可能株式総数 160,000,000株  
発行済株式の総数 60,832,771株

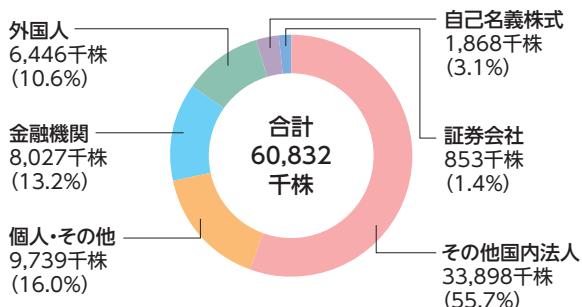
株主数 5,143名 (前期末比 711名増)

## 大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
セコム株式会社	30,598	51.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,563	6.0
能美防災代理店持株会	2,317	3.9
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	1,561	2.6
能美防災取引先持株会	1,431	2.4
CEPLUX- THE INDEPENDENT UCITS PLATFORM 2	999	1.7
能美防災従業員持株会	996	1.7
株式会社三井住友銀行	765	1.3
JP MORGAN CHASE BANK 385632	666	1.1
能美防災安衛協持株会	666	1.1

(注) 持株比率は自己株式 (1,868,090株) を控除して計算しております。

## 所有者別株式分布



## ホームページのご案内

当社ホームページでは、決算に関する資料など様々な情報を掲載しております。ぜひ一度ご覧ください。

URL <https://www.nohmi.co.jp/>



# 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
単元株式数	100株
公告の方法	当社のホームページに掲載する。 URL <a href="https://www.nohmi.co.jp/">https://www.nohmi.co.jp/</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031 (フリーダイヤル)
(インターネット) (ホームページURL)	<a href="https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/">https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/</a>

【株式に関する各種お手続きについてのお問い合わせ】  
お取引の証券会社にお問い合わせください。

ただし、未払配当金の支払請求および証券会社をご利用でない株主様のお手続きにつきましては、株主名簿管理人である三井住友信託銀行の左記電話照会先までご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に証券保管振替機構(ほふり)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である三井住友信託銀行に口座(特別口座といえます。)を開設しております。

特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先までご連絡ください。

【単元未満株式の買取・買増制度について】

単元未満株式(1~99株)については、市場での売却ができませんが、当社に対して買取請求または買増請求を行うことができます。いずれも手数料は無料となっております。

これらの請求を行う際はお取引の証券会社に、証券会社をご利用でない株主様は株主名簿管理人である三井住友信託銀行の左記電話照会先までご連絡ください。

## 能美防災株式会社

〒102-8277

東京都千代田区九段南4丁目7番3号

電話 (03) 3265-0211 (代表)

URL <https://www.nohmi.co.jp/>

